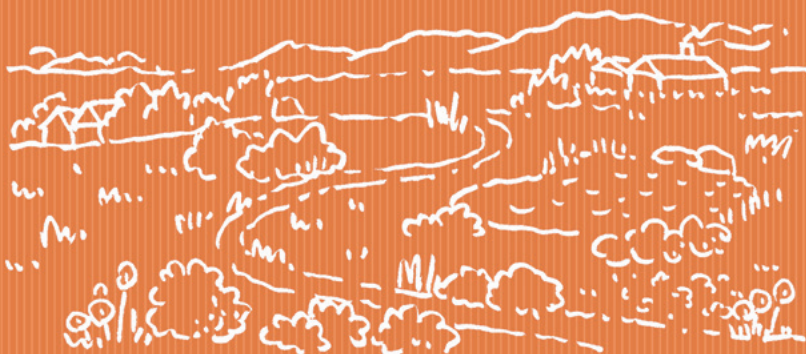


ばんけい

教育ほつとにゅーす
かわら版こ みち
教育の小径 No.105
2017 July
7月号国士舘大学教授
北 俊夫先生

今月のひとば

こころ さだめ つぎ
転ばぬ先の杖

失敗したりしくじったりしないように、事前に十分用意したり準備したりしておくことが大切だという意味です。同様な趣旨のことばに「備えあれば憂いなし」があります。

「祝日」の指導を

- わが国には現在16の「国民の祝日」があります。祝日の意義やそれぞれの祝日の内容については法律に示されています。
- 学校では、祝日の前日などに意義や内容などについて指導します。「祝日」について指導することは、わが国の伝統文化に関する教育の場でもあります。

今月の
記念日梨の日
(7月4日)

梨は国産の果物です。7月にはまだ出回りませんが、「な・し（7と4）」の語呂あわせが由来です。弥生時代にはすでに食べられていたといわれています。

「祝日」とは何か

現在、わが国には祝日が16日あります。これは「国民の祝日に関する法律」（祝日法）に定められています。主な内容は、祝日の意義と各祝日の内容、それに休日についての規定の3つの条文から成っています。

祝日の意義については、「自由と平和を求めてやまない日本国民は、美しい風習を育てつつ、よりよき社会、より豊かな生活を築きあげるために、ここに国民こぞって祝い、感謝し、又は記念する日を定め、これを『国民の祝日』と名づける」とあります。

お祝いの日という趣旨から、かつては各家庭で国旗が掲げられました。いまではそうした風景はめっきり少なくなりました。市役所など公共機関や一部の企業などで見られる程度です。

16の祝日に対して、それぞれ内容が定められています。例えば5月5日の「こどもの日」は「こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する。」とあります。7月の第3月曜日の「海の日」は「海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本の繁栄を願う。」とされています。

また、「国民の祝日」は休日とすることや、日曜日に当たるときは、その

日後に最も近い「国民の祝日」でない日を休日とすること（いわゆる「振替休日」）も定められています。

こうした意義や内容を含んでいる国民の「祝日」に対して、子どもたちは「学校が休みの日」ぐらいにしか理解していないかもしれません。各学校や学級では、祝日について事前の講話が求められます。

伝統文化教育の場として

「祝日」として定められた日には、それぞれに固有の意義があり、わが国固有のものです。外国では、代表的なものに国の独立記念日があります。

「祝日」は、自然と関わりがあるもの、行事や出来事など歴史的な背景があるもの、先人や勤労に対して敬うものなどさまざまです。例えば「体育の日」は、もともと昭和39年（1964年）に開催された東京オリンピックの開会式の日でした。「文化の日」はかつて明治節（明治天皇の誕生日）といわれました。また、「勤労感謝の日」はかつて新嘗祭にいなめさいが行われ、祭日のひとつとされた日です。

「祝日」について指導することは、わが国固有の伝統文化に関する教育の一環です。子どもたちに身につけさせたい基礎的な事項であるといえます。

ただ、建国記念の日のはかつの「紀元節」の日であったことから、祝日の制定当時はさまざまな意見が出されました。

祝日をどこでどう指導するか

職員室の黒板に「祝日前日指導」と書かれている学校があります。これは学級担任に翌日などの祝日について指導するようながしているものです。祝日の前日には、「祝日法」にあるように、祝日の意義や国民がこぞって祝い、感謝または記念する日であることをそれぞれの学年の子どもに応じて分かりやすく指導します。

指導する時間はそれほど要しませんから、朝の会や帰りの会などに行います。高学年であれば、子どもに事前に調べさせておき、画用紙などに書かせて簡単に発表させる方法もあります。週の予定表に予め記述しておき、子どもたちの関心を高めておきます。

なお、6年の社会科では、政治の働きと国民生活との関係を指導する際に「祝日」について取り上げるようになっています。教科書には祝日の一覧が示されています。そこでは、各々の国民が祝日に関心をもち、その意義を考えるとされています。祝日についての基礎的な知識を身につけさせます。

学校の危機管理

保護者への対応

子どもが危機的な状況に遭遇したとき、保護者への連絡や相談など適切な対応は欠かせません。

例えば、学校だけがをしったり病気になったりして病院に行くとき、事前に了解を取ることが必要になることもあります。緊急の場合にはその時間がなかったり連絡が取れなかったりすることもありますから、予め保護者の要望などを聞き、了解をとっておくことも考えられます。その場合にも、事態の経過や結果を丁寧に説明します。

また、風水害や地震など自然災害が発生したときには、子どもたちを早めに帰宅させることもあります。この場合、保護者が自宅を不在にしているなど家庭の状況に応じて学校に留め置くことも選択肢のひとつになります。帰宅させるときには事前に各家庭に連絡します。集団で下校させたり学級担任が手分けして家まで送り届けたりすることも考えられます。

特にわが子が危機的な状況に遭遇したとき、保護者に対する学校や担任の対応が遅れたり誤ったりすると、不安感を抱くことがあります。この不安感が学校や担任への不信感に増幅する可能性があります。日ごろから意思疎通を十分に行っておくことはもちろんのこと、保護者への報告、連絡、相談など情報の早期提供と事態への早期対応は危機管理の原則です。

万が一保護者との関係がこじれてしまったりその心配がある場合には、学級担任が一人で対応するのではなく、管理職の判断を得て、学校として対応するようにします。いったん信頼関係が崩れると、その修復にはたくさんのエネルギーと時間がかかります。

教育の動向



アクティブ・ラーニング、なぜ消えた

「アクティブ・ラーニング」の用語が登場したのは平成26年11月、文部科学大臣が中央教育審議会に教育課程の基準のあり方について諮問したときです。当時、文部科学省が作成した用語集には「主体的、協働的に学ぶ学習」と説明されていました。これを受けて、アクティブ・ラーニングに取り組んできた学校もあります。

ところが、新学習指導要領には、アクティブ・ラーニングの用語がどこにも見られません。「主体的・対話的で深い学び」と言い換えられています。「梯子を外されたようだ」とがっかりした声や「学校の特質や授業の実態を

とらえると、『対話』には限界があり『協働』こそ学校ならではの学びではないか」という指摘もあります。

学習指導要領は法的な拘束性をもってするために、法律に準拠した文言や表現が使われます。用語や用法は総務省の法令審議室で吟味されます。カタカナ語はこれまで使用されてきた用語を除いて極力使わないという原則があるようです。「アクティブ・ラーニング」も対象になりました。「カリキュラム・マネジメント」は注釈として示されています。また、学校や教師の関心が「アクティブ」のみに向いたために、「ただ活動させればよいのか」と指摘されました。そのため本来の姿である「深い学び」が強調されるようになりました。「協働的」が「対話的」に変更された理由は不明です。

シリーズ 研究授業の目 12のポイント 9

板書はどう構成されているか

わが国の教室には必ず黒板（近年は白板）があります。黒板は授業における伝統的な教具のひとつです。

授業の観察者は黒板を正面に向かい合って位置しています。子どもたちと教師の動きだけでなく、教師が構成する板書事項に終始注目しています。

例えば、本時のめあてをいつどこに書くか。子どもの発言をどう記述しているか。黒板に書かれた事項を矢印でどう関係づけるかといった内容に関すること。資料など掲示物をどう貼付したか。チョークの色使いをどう工夫しているか。文字の書き順は正しいか。授業の先を見越して書いているかなど方法に関すること。さらに子どもが板書にどう参加しているかに関心をもって授業観察することもあります。

「板書を見れば授業がわかる」といわれます。これは板書するという教師の活動が授業の質を大きく左右することを意味しています。板書は子どもに思考をうながし、理解を深めさせるための「もう1つの教材」であるという認識をもって、計画的で意図的に板書を構成したいものです。

学習指導案に「板書計画」が示されています。「板書指導案」という用語も見られます。それらの板書に共通していることは、板書が問題解決的に構成されていることです。授業後にその時間の板書を写真にとって記録に残し授業を検討している先生もいます。

板書の全体が構造的に構成されていることは、授業の構成が構造的であるということです。たかが板書と思われませんが、教師の板書力は授業力の重要な要素であると考えます。

INFORMATION



新教育の分析と授業改善のための必携書

小学校 指導資料PART33

新学習指導要領改訂の要点

■企画・編集／(一財)総合初等教育研究所 ■規格／A4判 本文2色 272ページ
■発行／株式会社文溪堂 ■定価／1,500円(本体1,389円+税)

編集後記

「子どもたちは『学校が休みの日』ぐらいにしか理解していないかもしれませんが……北先生の言葉にどきっとしたのは、きっと私だけではないはず。身近にある伝統文化、いま一度見直してみようと思います。(F記)

企画・編集：ぶんげい教育研究所
発行：株式会社文溪堂
発行日：2017年7月1日